

[ヒールメイト]セカンドパートナー実態調査 2024

セカンドパートナーは浮気・不倫に当たると考 える人が5割！「理解できる」は…？

セカンドパートナー（略称：セカパ）という言葉をご存じですか？

セカンドパートナーとは、既婚男女が妻や夫（ファーストパートナー）と別に持つ、プラトニックな関係の婚外パートナーという意味です。不倫と違って体の関係は持たない点が重要で、セカンドパートナーの関係は「友達以上、恋人未満」とも言われたりします。

最近の婚外恋愛ブームで既婚者の新しい男女関係として注目を浴び、「プラトニック不倫」という別名も生まれるほどです。

弊社による過去の調査では20～50代の既婚男女の4割以上がセカンドパートナーという言葉を知っているという結果が出ました。特に20代・30代は5割以上が知っていて、若いほど認知度が高くなっています。

そこで、今回の【ヒールメイト】セカンドパートナー実態調査では、体の関係なしのセカンドパートナーに対する既婚者の意識を調査しました。「浮気・不倫にあたる」と考えているか、「セカンドパートナーを持つことを理解できるか」の2点です。

なお、【ヒールメイト】セカンドパートナー調査は、既婚者向けのコミュニティサイト「ヒールメイト(Healmate)」を運営するレゾンデートル株式会社（東京都新宿区）は15,000人の既婚者男女を対象に実施したアンケート調査で、セカンドパートナーに関する初の大規模調査になります。

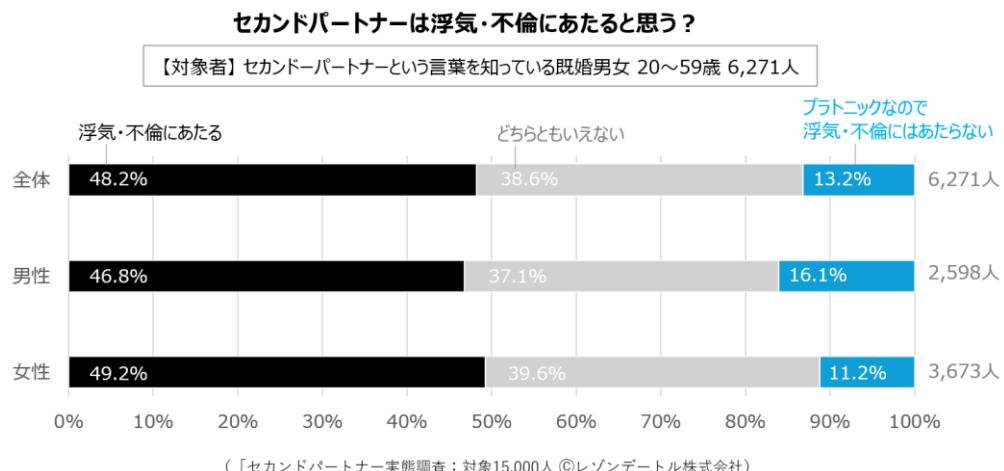
＜注意点＞

- 20～59歳の既婚者に限定し、男女別の数や年齢層も均衡な対象に行ったインターネット調査です。調査方法・調査対象等は最後に記載しています。
- セカンドパートナーは現在、既婚者以外の独身カップルにも広がっている様子ですが、今回の調査は本来の意味に則して対象を既婚者に限定しました。

セカンドパートナーは浮気・不倫にあたる？

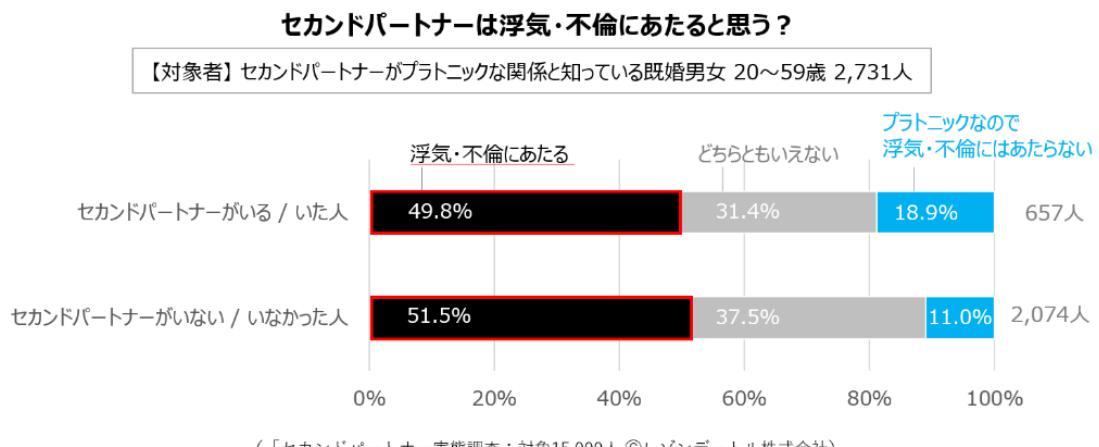
セカンドパートナー実態調査 2024 第 2 報（ヒールメイト調べ）の調査で「セカンドパートナーという言葉を知っている」と回答した 6,271 人の既婚男女に、「セカンドパートナーは浮気・不倫にあたるか」を尋ねたところ、**48.2%**の人が「浮気・不倫にあたる」と回答しました。

つまり、約半数の既婚者が、たとえ体の関係はなくても異性と親密になれば浮気・不倫にあたると考えていることが分かります。なかなか厳しめの結果ですね。

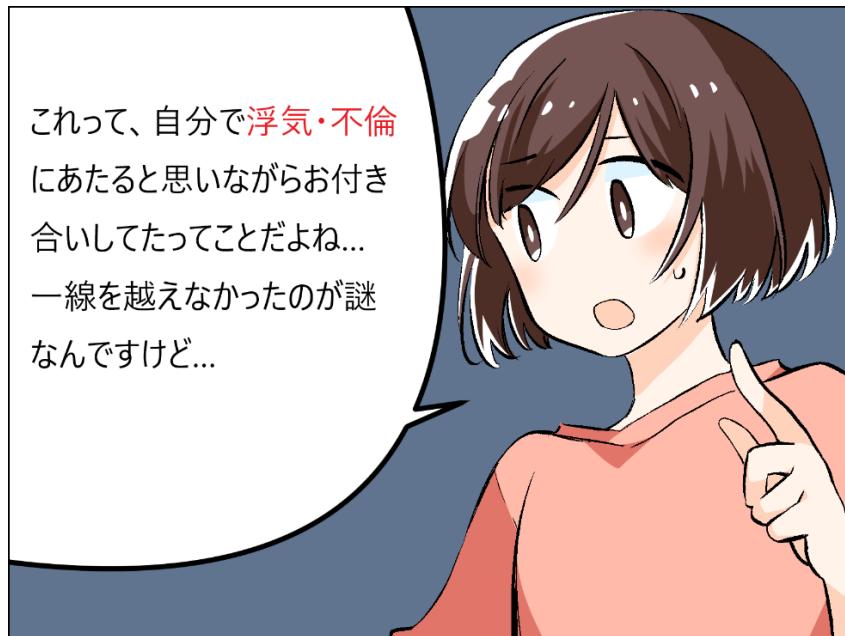


セカンドパートナー経験者の意識は？

次に、セカンドパートナー経験者と、そうでない人に分けて回答結果をみてみます。今度は言葉を知っているだけでなく「セカンドパートナーはプラトニックな関係」と理解している 2,731 人の既婚男女に限定した結果です。経験者は自分で浮気・不倫にあたると考えているのでしょうか？



なんと、セカンドパートナー経験者も約半数が「浮気・不倫にあたる」と考えていることが分かります。「浮気・不倫にはあたらない」も8ポイントしか差がありません。

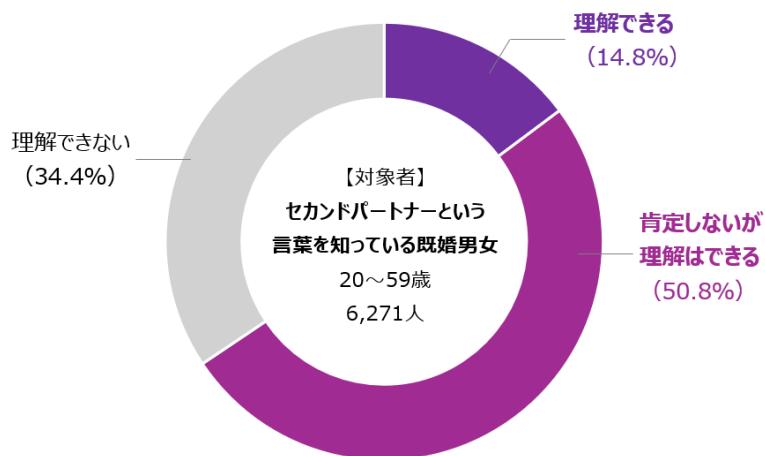


これって、自分で浮気・不倫にあたると思いながらお付き合いしてたってことだよね...一線を越えなかったのが謎なんですけど...

セカンドパートナーを持つことを理解できる？

続いて、セカンドパートナー実態調査 2024 第2報（ヒールメイト調べ）で「セカンドパートナーという言葉を知っている」と回答した6,271人の既婚男女に「セカンドパートナーを持つことを理解できるか」を尋ねた結果を紹介します。48.2%が「セカバは浮気・不倫にあたる」と回答した母集団です。

【全体】セカンドパートナーを持つことを理解できる？



（「セカンドパートナー実態調査：対象15,000人 ©レゾンデータル株式会社）

「理解できる」が14.8%、「肯定しないが理解はできる」が50.8%。合計すると **65.6%**の人がセカンドパートナーを持つことに理解を示しています。「許せない」という方も多いでしょうが、「セカンドパートナーは浮気・不倫にあたるが理解はできる」というのが最も多い見方と言えそうです。

なお、男女別では、男性の方がより理解を示す傾向なっています。



セカンドパートナー調査 第3報 | まとめ

セカンドパートナー作りは今後盛んになっていくでしょうが、今回の調査結果を考えると、周囲や配偶者から「浮気・不倫」認定される可能性があるので注意しましょう。ただし本音では理解できるようなので、最終的には話し合ってみるのも一つの夫婦の選択かもしれません。

次回からはいよいよ、セカンドパートナー当事者に絞った調査です。謎の多いセカンドパートナーの実態を解明していきます。

今回の調査の詳しい報告は「[既婚者の男女関係に関する調査](#)」に掲載予定です。

<調査概要>

- ・ 調査タイトル：[ヒールメイト] セカンドパートナー実態調査 第3報
- ・ 調査期間：2024年5月31日～6月5日
- ・ 調査対象者：20～59歳の既婚者 14,481人（男性 6,981人、女性 7,500人）

- ・ 調査方法：インターネット（セルフ型アンケートツール [Freeeasy](#) を利用）
- ・ エリア：全国
- ・ 調査機関：レゾンデートル株式会社 (<https://raisonsdetre-inc.co.jp/>)
- ・ 調査報告の掲載：<https://healmate.jp/survey/>
- ・ 本報告の発表日：2024年7月31日

＜調査対象者について＞

下表の通り男女、年齢層ともにほぼ均等なサンプルになっています。

	男性 (6,981人)	女性 (7,500人)
20代	1,356人 (19.4%)	1,875人 (25.0%)
30代	1,875人 (26.9%)	1,875人 (25.0%)
40代	1,875人 (26.9%)	1,875人 (25.0%)
50代	1,875人 (26.9%)	1,875人 (25.0%)

回答者は全都道府県に分布しており地域的な偏りはありません。子どもの有無は、子ども有が10,294人(71.1%)、子ども無が4,187人(28.9%)でした。

＜過去の調査結果＞

第1報「[セカンドパートナーがいる人/いた人の割合](#)」調査

第2報「[セカンドパートナーという言葉、プラトニックな関係であることの認知度](#)」調査

◎調査の目的

私どもレゾンデートル株式会社は、「結婚後の新たな生き方」を提案する既婚者向けメディアやインターネットサービスの展開を行うシステム開発会社です。現代の夫婦関係のあり方、既婚者の男女関係の多様性を把握し、今後のサービス開発に向けた市場動向を探るため、今回の調査を企画しました。

◎調査内容・本リリースに関するお問い合わせ

今回の調査内容やデータの詳細に関するお問い合わせ、報道関係の皆様の取材依頼やお問い合わせは下記までお願い申し上げます。

〒160-0022 東京都新宿区新宿4-3-15 レイフラット新宿B棟3F

問い合わせアドレス：info@healmate.jp

担当：浦野